

第32回北方領土の返還を求める都民大会 会長挨拶

2014/01/28

- ただいまご紹介をいただきました谷茂岡でございます。
- 本日は第32回北方領土の返還を求める都民大会を開催するに当たりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。本日は、お忙しいところ、このように大勢の皆様にご出席いただきまして、まことにありがとうございます。
- 本日は、大変心強いご来賓をお迎えいたしております。お国のほうからは、内閣府、そして外務省、北対協からもお出でいただいております。ありがとうございます。また、東京都からは知事本局長さんをはじめ、都議会議長さん、そして都議会各会派の皆様方にもおいでいただきまして、ありがとうございます。
- さて、ロシアが北方領土を占拠してから68年、この都民会議も昭和58年の設立以来、31年を迎えました。まことに長い年月ですが、この間の長い年月、私どもは、二国間の交渉を見守りながら活動をしてまいりました。
- 本日は、東海大学海洋学部教授の山田先生にお越しいたいただき、海洋政策や海上の安全保障という今までとは少し違う観点から北方領土をめぐる現状についてお話をいただきます。先生はビザなし交流訪問で北方領土にも行ってらっしゃるので、興味深いお話がいただけるものと思います。
- また、今年度の活動の中で、根室にて、東京都内の中学生高校生を対象にした北方領土青少年現地視察を行いました。その視察に参加した学生からの成果発表が今回ございます。素晴らしい先生に引率していただき、根室でしか経験することのできない様々な経験をしてきたと伺っております。その体験を若い方はどのように感じたのか、大変楽しみに思っております。
- もうひとつ、昨年、都民会議では北方領土に関する映像資料DVDを作成いたしました。これは都民会議の、教育者会議に所属する先生方が知恵を出し合って作っていただいたものです。自然環境や歴史、返還運動の内容がとともわかりやすくまとまっております。このDVDを使ってさっそく社会科の授業をしてくださった中学の先生がいらっやいまして、先生からの発表も最後にございます。こちら、北方領土問題を中学生のみずみずしい感性はどう感じているのか、発表がとても楽しみです。
- 北方四島が日本へ帰ってきて、そして両国の人々が、本当に胸襟を開いて信頼関係を持ってお付き合いができる日が一日も早く来ることを願っており、私たちの運動はそういう形で進めていかなければならないとしみじみ感じている次第でございます。
- 私たちは、決してあきらめることなく、粘り強く、そして希望を持って、この運動を推し進めてまいりたいと存じております。どうぞ、皆様方にも強いご協力をお願い申し上げまして、簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。